

コミュニティ・スクールだより

回 覧

美濃加茂市教育委員会(学校教育課)からのお知らせ

令和7年12月1日 発行

コミュニティ・スクールづくりの先にあるものは、

スクール・コミュニティです。



学校での活動を通して、まちに顔なじみが増えていく。近所に買い物に出かけただけで、何人もの人から「こんにちは」と声をかけられる。そんな日常が生まれます。

こうした温かな交流は、私たちの心の満足度を高め、やがて「このまちに暮らせてよかった」という幸せ感につながります。なぜなら、物質的な豊かさだけでは得られない、人と人とのつながりこそが、日々の暮らしにかけがえのない喜びをもたらしてくれるからです。

コミュニティ・スクールは、学校をその舞台とし、まち全体に人とのつながり(スクール・コミュニティ)を育んでいく取組なのです。

もし、興味がおありでしたら

一緒にやってみませんか？



ボランティアの皆様と学校をつなぐ地域学校協働活動推進員。
左から、加茂野小 青地さん、下米田小 渡辺さん、古井小 山内さん、山手小 渡辺さん。
写真には、写っていませんが、三和小では、都竹さんが推進員として活躍され、蜂屋小では、里見さんが推進員的な役割を担っています。

学校で子どもたちの活動を見守ったり、見届けたりする活動。全く時間に拘束されず、やれる時にやれることをすればよい活動。でも、やってみると、「案外、楽しい」という声が…。

もし、興味があおりでしたら、あなたも一緒にやってみませんか。

ボランティアの皆さんは、 こんな場面で活躍されています。

登下校や校外学習における交通安全の見守り
休み時間における安全の見守り

調理実習、ミシン裁縫実習の見届け
彫刻刀、カッターナイフ、のこぎり、かなづち等使用時の見届け

読み聞かせ、休み時間のカルタや百人一首の読み手
習字(毛筆)の時間の見届け
かけ算九九、計算カードの相手

畑や花壇の手伝い
学校行事の手伝い



連絡は、こんなふうに

① まずは、「えい。やあ！」と、登録をします

最寄りの学校から発行されるチラシ等にある連絡先にアクセス

または、

市役所学校教育課に電話(28-1137)

② 学校から連絡が来ます

日時、内容等が記載されています

③ 連絡を返します

「やってもいい」「この時間なら大丈夫」と
思われた時にだけ返します



私は、こんな”幸せ“を感じています。



下米田小学校では、“サポーター交流会”を実施。
ボランティアとして、活躍されている多くの方々が集まり、この活動による“よさ(幸せ感)”について交流しあいました。
この時、こんな意見が出されました。

☆「あの時のおじさんだあ」と言いながら、「こんにちは」と、挨拶をしてくれました。よかったなあ。

☆通学の見守りをすることは、一日の元気の源。
子どもたちの元気な姿を見て、自分も元気になります。

☆たくさんの出会いがありました。楽しいです。仲間ができ、学びがいっぱいあります。

☆自分が必要とされていると感じることができました。とても、やりがいを感じます。

☆何だか、関われば関わるほど、地域愛が生まれているのを感じます。



下米田小学校“サポーター交流会”の様子。夏休み最後の金曜日の夜にもかかわらず、30人以上のボランティアをされている方が集まりました。

こんな質問がよくあります。

まず、やっているところを見学させてもらえますか？

もちろん、見学だけでも OK です。一度、ご覧いただくと要領がつかめると思います。遠慮なく、その旨を担当者にお伝えください。

私、学校とは全く関係ありませんが…

自分の出身校ではないし、今まで全くかわりがない。だから、どこから入ればいいのかすらよくわからない。それでも大丈夫です。新しい出会いが待っています。

教えることに対して、全くの素人ですけど…

子どもたちに、学習内容を教えることはありません。ただ、先生の指示通りできていることを見届けるだけです。その見届け方も、先生との打ち合わせで教えてもらえます。

わが子(孫)の学級でできますか？

むしろ、そうしていただきたいです。お子さん(お孫さん)と共通の話題ができます。それに、お子さん(お孫さん)が、普段の授業で頑張っている姿を見られるよい機会となるはずです。

やめることはできますか？

いつでも学校にその旨をお伝えいただければやめられます。それ以降、学校からの連絡は来ません。もちろん、後になって学校から何かを勧誘されるようなこともありません。

学校によってボランティアの内容は異なります。
詳しくは、市役所 学校教育課、または、直接学校にお尋ねください。

(学校教育課 0574-28-1137)

